

「危険体感教育指導員養成講習」を実施しました

当会神奈川支部では、平成24年2月に「危険体感教育指導員養成講習」を3回実施しました。
参加者の方々に大変好評でありました。

現在は安全活動の活性化により過去と比較して、災害件数が減少してきてますが、これに伴い災害に直面するという経験自体が稀なことになり、それが労働者の危険に対する感受性の低下になっているといわれています。それに加えて、作業環境や設備の安全化の進展に伴い危険要因が潜在化し、労働者にとって「何が危険なのか、どのようなことをすると危険なのかがわかりにくくなってきている」とも言われています。

「危険体感(感受性向上)教育」とは、職場に存在する危険を具体的に示し、身近な危険を直感的に理解させるものであり、座学で知識等を教えるのと異なり、観念でなく、経験として学ぶものであります。

「危険体感教育指導員養成講習」で実施した、主な種目（座学と実技）

◎座学 講師による説明

◎実技 ①死角に関わる危険 ・手押し台車 ・フォークリフトの死角 ②高所作業 ・(ハシゴ昇降時の3点タッチ) ③高所作業(安全帯のぶら下がり) ・1本吊り型 ・ハーネス型 ④歩行作業(高所歩行で転落危険) ⑤アーク溶接作業(溶接粉じんの危険) ⑥アーク溶接作業(接地不良・発火の危険) ⑦機械ロール作業(巻込まれ)卓上ボール盤 ⑧玉掛け作業(指の挟まれ・竹割り) ⑨玉掛け作業(荷振れ) ⑩玉掛け作業(ワイヤー切断) ・1点吊り ・4点吊り ⑪玉掛け作業(ワイヤー切断) 荷重 3ton

【講習写真】

座学



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



「危険体感教育」についての、受講相談やお問い合わせは下記にご連絡下さい。

日本労働安全衛生コンサルタント会神奈川支部 Eメール: info@conkana.org 電話: 045-633-3618